

会 議 録

会 議 名	第26期小金井市公民館企画実行委員の会議 第1回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	令和2年8月4日(火) 午前9時30分～11時30分		
開 催 場 所	学習室B		
出 席 委 員	阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、齊藤美恵子委員、高橋陽子委員		
欠 席 委 員	なし		
事 務 局 員	松本浩明主任、山崎敬広主任、永嶋汐美		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 第26期小金井市公民館企画実行委員就任委嘱状の伝達</p> <p>2 公民館運営審議会(7月16日開催)の報告</p> <p>3 令和元年度「市長への手紙」の集計結果(公民館部分)について</p> <p>4 令和2年度講座について</p> <p>5 各講座の計画</p> <p>〔計画〕高齢者学級「けやき学級」、成人学校「江戸野菜に親しもう」、音楽鑑賞のつどい(仮称)オータムコンサート、市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」、市民講座「笑って学ぼう笑ンディングノート」、成人学校「植物観察」、(仮称)太古の世界を旅しよう! 首長竜フタバスズキリュウ、成人学校(仮称)ZOOMで旅行体験、成人学校(仮称)「KDDIスマホ・ケータイ安全教室」</p> <p>6 その他</p> <p>・令和3年度予算要求について</p> <p>次回の日程</p> <p style="text-align: right;">令和2年9月1日(火) 午前9時30分～ 学習室B</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 第26期小金井市公民館企画実行委員就任委嘱状の伝達

1期目：斎藤美恵子委員

2期目：阿部光子委員、今村誠委員、大野芳輝委員、金ヶ江博紀委員、高橋陽子委員

2 公民館運営審議会（7月16日開催）の報告

(1) 報告事項

ア 都公連委員部会運営委員会について

委員部会第1回研修会は10月24日（土）小平市公民館ホールで開催予定。部会の共通テーマとして「コロナ禍の公民館の行動様式をどうするか」とし、各市の考え方を持ち寄って検討を行う。

イ 東京都公民館研究大会企画委員会について

7月8日（水）午後2時から町田市生涯学習センターで行い、大会メインテーマを「コロナ時代に向き合う公民館～新しい生活様式と公民館」とした。基調講演候補に長澤成次氏（千葉大学名誉教授）として、今後は実施方法（今まで通りの形、オンライン、動画配信、資料配布のみ、DVD配布等）の検討を行う。

ウ 公民館事業の報告について

今回、公民館からの報告はなし。

(2) 協議事項

ア 小金井市公民館中長期計画について

第34期公民館運営審議会（第16回・令和元年4月16日）から5回検討してきた。この間パブリックコメント（令和2年5月20日）「新庁舎・（仮称）新福祉社会館建設基本設計（案）に対する意見及び検討結果」が公表され、その中で新庁舎に仮移転中の本館設置等について市の見解を問うたが、担当部署での整理するものとの結果となり、今回、公民館運営審議会としての最終案を次のようにまとめることとなった。

- ・新庁舎内に（仮）公民館課を置き、公民館本館機能として公民館全体の方針、施策の立案、各公民館の統括等を担当する。
- ・現本館を本町公民館として復活し、5館体制とする。
- ・本館は設置せず、地区館の呼称も「分館」ではなく「〇〇公民館」とする。
- ・（仮称）本町公民館の活動スペース不足分を新福祉社会館の多目的ホールを使用する。また、公民館長から有料化について、登録団体以外は有料の可否について、前回委員から示された登録団体の他（例として、個人的なグループ活動、自治会等の団体、不定期の団体、グループの

過半数が市外者等)は有料となる案の確認を行った。

(3) 審議事項

ア 公民館事業の計画について

貫井南分館からは、市民講座「健やかな毎日のために腸内環境を整える」を提出。質疑なし。但し、委員からは6～8月に講座が入っていないのは、コロナにかこつけて公民館はさぼっていると言われてもしかたがないとの意見が出された。

(4) その他

- ・第35期公民館運営審議会スケジュールの確認
- ・平成元年度「市長への手紙」公民館部分の抜粋資料提供
- ・公民館運営審議会傍聴人の提案シートの情報提供

3 令和元年度「市長への手紙」の集計結果（公民館部分）について

毎年実施されているの集計の公民館部分の抜粋として紹介。公民館講座の参加について、町別では「良く参加している」は貫井南町が最も多かった。また、性別では男性より女性の方の講座参加が多く、年齢別では70歳代が多くなっていた。自由意見欄では、40～50歳台が参加したくなるものがない。妻の意見として、75歳夫のために男性が好きそうな講座の実施希望意見、料理、手芸、体操など低料金で受講できる市民向けの講座開催希望や高齢者学級参加経験者からの意見では、「タダ」ではなく、受益者負担での実施を願う意見もあった。以上これらのことも今後、企画していく中で考慮していくこととした。

4 令和2年度講座について

前回で実施予定とした成人学校（仮称）「ZOOMで旅行体験」は、公民館に無料Wi-Fiが完備されていないことで、初心者受講者の通信料が跳ね上がる負担がかかることなどから考慮し実施を断念し、代替の講座として前回会議で提案されたもの、今回提案されたものの中から、インターネット繋がり小学生とその保護者向けの「インターネットやSNSのトラブル防止」実施予定とした。この講座は近年、小学生のスマホ所有率が急激に上がっていることからSNSの危険性を学ぶ講座とする。また、今後開催予定の成人学校（仮称）「ちぎり絵」については、講師の事情を考慮し検討を行うこととする。

5 各講座の計画

【計 画】

○高齢者学級「けやき学級」

既に市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号で募集が始まっているが、現時点の応募状況は定員20人に対して17人となっている。この内、4月時点での応募者（9月からの開催でも参加の確認済み）が10人となっていることから、この時期のコロナ感染者数増加傾向から自粛していることも推

測される。申し込み期限は往復はがき8月7日（金）必着、その後、重複申込者などの確認作業を行い、同月12日（水）に抽選を行う予定。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

農場のある東京学芸大学入構許可が8月17日から更に9月30日へ延長される情報があることから、8月6日には詳細が分かる予定。講座スタートを8月24日に迎えることが難しくなった。今後、江戸野菜の講師とスタッフを交えて、講座スタートが再度遅れることから、講師による新人に対する江戸野菜についての講義実施の検討を行う。

○音楽鑑賞のつどい（仮称）オータムコンサート

7月17日（金）午後6時30分から東京学芸大学ウインドアンサンブル代表者と企画実行委員含め打ち合わせを行った。東京学芸大学構内への入構延期が8月17日から9月30日への延期情報から練習ができないことから10月初旬の開催が難しくなった。今後の開催については3月14日（日）のスプリングコンサートとして計画を行う。

○市民講座「健やかな毎日のために 腸内環境を整える」

定員を25人から20人に変更し、10月10日（土）、17日（土）午前10時から正午に開催予定。市報9月15日号、月刊こうみんかん9月号で募集する。

○市民講座「笑って学ぼう笑ディングノート」

落語と講義によるエンディングノートの活用術を学ぶ。11月6日（金）午前10時から正午で開催予定。市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号で募集する。

○成人学校「植物観察」

11月13日（金）に座学、20日（金）に野川公園で野外学習を行うことで調整し、10月には講師とともに野外学習の実踏を行う予定。今後、野外学習の行程（自然観察園使用）について、講師と打ち合わせを行う。

○（仮称）「太古の世界を旅しよう！首長竜フタバズキリュウ」

講師の佐藤たまきさん（東京学芸大学准教授）は首長竜の研究の開拓者で、日程調整中。受講対象を子どもとし、子供向けの講座とする予定。

○成人学校（仮称）ZOOMで旅行体験

議題4の「令和2年度講座について」で検討済み。

○成人学校（仮称）KDDIスマホ・ケータイ安全教室

シニア向け講座として、実施日を12月9日（水）開催で調整を行う。

6 その他

・令和3年度予算要求について

来年度は成人学校「江戸野菜に親しもう」を行わないことから、講師謝礼11回分を成人学校と市民講座に振り分け、新しい講座の実施を目指す。また、高齢者学級の野外学習を1回として、詳細については、次回の会議で検討を行う。但し、行先については高齢者学級担当チームの金ヶ江委員と事前に打ち合わせを行うこととする。

次回の日程 令和2年9月1日（火）午前9時30分～ 学習室B